



各 位

平成 23年 4月25日

上場会社名 大陽日酸株式会社
 代表者 代表取締役社長 川口 恭史
 (コード番号 4091)
 問合せ先責任者 広報部長 石川 紀一
 (TEL 03 - 5788 - 8015)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成23年3月期において、下記のとおり特別損失を計上することに伴い、平成22年11月2日に公表した平成23年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 480,000 | 32,500 | 30,500 | 17,000 | 42.52 |
| 今回発表予想(B) | 483,500 | 35,400 | 34,000 | 12,500 | 31.27 |
| 増減額(B - A) | 3,500 | 2,900 | 3,500 | 4,500 | |
| 増減率(%) | 0.7 | 8.9 | 11.5 | 26.5 | |
| (ご参考)前期実績 平成22年3月期 | 433,390 | 27,556 | 27,058 | 15,748 | 39.39 |

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 238,000 | 17,500 | 20,500 | 13,700 | 34.26 |
| 今回発表予想(B) | 242,000 | 20,500 | 24,000 | 8,400 | 21.00 |
| 増減額(B - A) | 4,000 | 3,000 | 3,500 | 5,300 | |
| 増減率(%) | 1.7 | 17.1 | 17.1 | 38.7 | |
| (ご参考)前期実績 平成22年3月期 | 224,742 | 14,315 | 15,899 | 10,595 | 26.49 |

修正の理由

個別業績では、主要関連業界の需要の増加から酸素・窒素・アルゴン等の主要ガスやエレクトロニクス産業向けの特種ガスの出荷が好調に推移しました。また、半導体関連機器の売上の増加やプラントの大型工事などで原価率が当初予想より改善しました。その結果、個別の売上高・営業利益・経常利益は前回予想値を上回る見込みです。

連結業績では、米国における景気回復の遅れなどで米国子会社等の業績が当初予想を下回る見込みの一方、個別ならびに国内子会社の業績が好調に推移した結果、売上高・営業利益・経常利益は前回予想値を上回る見込みです。

当社は、平成22年1月に公正取引委員会からエアセパレートガス(液体酸素、液体窒素、液体アルゴン)の販売に関する独占禁止法違反の嫌疑で立入検査を受け、以降同委員会の調査に協力してまいりましたが、同委員会から本年4月7日付排除措置命令書(案)及び課徴金納付命令書(案)を受領いたしました。当社といたしまして

は、当該命令書(案)への対応について今後慎重に検討してまいります。当該命令書(案)で通知された課徴金金額約51億9千万円を平成23年3月期の期末決算において特別損失として引当計上いたします。また、東日本大震災関連費用として、個別で約13億円、連結で約16億円を特別損失に計上することなどで、個別・連結ともに当期純利益は前回予想値を下回る見込みです。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によっては、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上